

GRASS ROOTSに 名を刻め！

— RESPECTから始める冒険 —

その23 (R05.05.12)

～グローカル人材の育成～

玉村町教育委員会では、「玉村に軸足を置き、世界に目を向ける子どもたち！」をスローガンにグローカル人材の育成を掲げています。グローカル人材とは、「国際社会で通用する能力や視点を持ち、地域社会や経済の発展に貢献する人材」です。

項目のひとつとして、「幼小中12年間を通した英語コミュニケーション力の育成」があります。英語コミュニケーション力の育成のために、芝根小では、日本語で話す力を高めたいと考えています。

見つけたよ! RESPECTにあふれる景色

【5月11日（木）】学力向上部会の話し合い

「書く力・話す力」等のアウトプットに対する課題について、次のような意見が出されました。

- 「もし100万円あったら」など書くことへの意欲が高まる短作文などに挑戦する。
- 「アニメーション」等を実践して、聞いたことを基に話す力を高める。
- 各新聞社のホームページ等にある新聞ワークシートを活用し、書く力を高める。
- モジュールの時間を活用して、学校全体で取り組み、書く力などを高める。

グローカル人材の育成をめざして、芝根小の教員もしっかり考えています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

新しいことは、簡単に成功しないかもしれません。しかし、前に踏み出す勇気を持って、冒険を始めたいですね。

【5月12日（金）】CSSの一言

1年生を迎える会のひとつとして、5年生は1年生と遊具で遊び、6年生は1年生の学校探検をサポートしました。コロナ禍で変えた活動ですが、コロナ前の活動より、有意義であると判断して続けています。

この活動について、1年生、高学年のどちらの児童にとっても、有意義であるとほめていただきました。

この活動のよさは、児童の笑顔あふれる表情からもわかります。